

農学と地域活性化 第1回

— 農と福祉（1）体験型市民農園の機能 —

2009年10月31日土曜日午後1時～ 農学部多目的室



テーマ：「体験型市民農園の機能」

体験農園では農家が主体で、利用者は提供された種や道具を使って農作業を行い、収穫物の買い取りと講習の料金を農家に支払っています。

「都会でだからこそできる農業」

について一緒に考えてみませんか？

講師：加藤義松（東京都農業体験農園園主会会長）

現在、都市部の人口は総人口の約7割にも及び、都市に生活する人々にとって農は遠い存在と言えるでしょう。私達都市農業者が地域住民と野菜作りを通じ農の大切さを知らせることができる最適の方法として、また地方農業と連携し日本農業の活性化に貢献できる農業が、農業体験農園だと思います。農業体験農園には様々な可能性があります。農業体験農園を開園しませんか？経営としても面白いですよ！初めて野菜作りを志そうと思っている方、野菜作りは運動と同じ頭で覚えるより、農家の野菜作りを体で覚えるのが1番早い方法です。（加藤氏のHPより）

講師：榊 浩行氏（農林水産省大臣官房参事官）

「食料・農業・農村をめぐる現状と課題—農と福祉の視点」

コメンテーター：柴田雅人氏（岡山県農業総合センター農業大学校）

**コーディネーター：岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター
センター長 吉田裕一（yyoshida@cc.okayama-u.ac.jp）**

